



きさらづ

市議会だより

平成16年8月1日

第84号

編集・発行 / 議会広報特別委員会
.0438(23)7111

http://www.city.kisarazu.chiba.jp/gikai/

6月定例会

議員定数調査特別委員会の 設置についてなど

14議案を可決

紙面ガイド

- 1面 本会議の日程と経過
- 4・3・2面 一般質問と答弁の概要
- 5面 意見書内容と委員会のうごき
- 6面 議案などの内容と議決結果

六月市議会定例会は、六月四日から二十一日までの十九日間の会期で開かれました。今定例会では、議員定数調査特別委員会の設置に関する発議案や国における平成十七年度教育予算拡充に関する意見書の発議案など合計十四議案が審議され、可決・同意・承認されました。また、十一人の議員が一般質問（個人質問）を行いました。

本会議の経過

初日 6/4

今定例会の会期を六月二十二日までの十九

日間と決定した後、例月出納検査の結果などに関する諸報告が行なわれました。議案等の上程については、市長提出議案八件（議案第一

45号、第52号）、請願一件、陳情三件が上程され、提案理由の説明が行われました。また、

「議員定数調査特別委員会の設置」に関する

発議案（第3号）が上程され、審議の結果、原案どおり可決されました。

就任のあいさつ

議長 後藤 秀



私たちは、このたび、議員各位のご推挙により、第53代議長並びに第50代副議長に就任いたしました。その職責の重さと使命を十分に認識し、議会運営に誠心誠意努力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

私たちが、このたび、議員各位のご推挙により、第53代議長並びに第50代副議長に就任いたしました。その職責の重さと使命を十分に認識し、議会運営に誠心誠意努力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

この後、正副議長の辞職に伴う選挙が行われ、新正副議長が選出されました。続いて、議会運営委員会委員及び特別委員会委員の選任を行い、次に土木都市水道常任委員会の副

議長及び議会運営委員会並びに5特別委員会の正副委員長の互選結果の報告を行いました。

次に、議会選出監査委員の選出に関する追加議案（議案第53号）が上程され、採決の結果、原案どおり同意されました。



副議長 野田 芳久

いま時代は、多くの分野で変革への局面を迎え、地方自治体も地方分権に向けた大きな潮流の中、行財政運営の積極的な改革推進が進められております。現在、本市も、厳しい財政状況の中に

はありますが、市民生活・教育・環境・産業の活性化などの問題に対し、効率的効果的な施策の実現に向けた改革に努めております。

こうした変革期において、市民の皆様への負託にこたえるべく、市民の立場に立ち、議会機能のさらなる充実を図るとともに、市政発展のため全力を傾注して参りたいと存じます。

どうか市民の皆様には、深いご理解とご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

続いて、意見書の提出等に関する議員発議案四件（発議案第4号、第7号）が上程され、委員会付託を省略し審議した結果、いずれも原案のとおり可決され、六月定例会の全日程を終了しました。

6月定例会の日程

日程	議事の内容
6月4日(金)	本会議 (諸報告 議案等上程 発議案上程・審議 正副議長選挙等)
6月8日(火)	本会議 (一般質問)
6月9日(水)	本会議 (一般質問)
6月10日(木)	本会議 (一般質問 請願の大綱質疑 請願等付託)
6月11日(金)	常任委員会 (教育市民福祉・土木都市水道)
6月18日(金)	合併調査特別委員会
6月22日(火)	本会議 (議案等審議 発議案上程・審議)

2日目 6/8

この後、正副議長の辞職に伴う選挙が行われ、新正副議長が選出されました。続いて、議会運営委員会委員及び特別委員会委員の選任を行い、次に土木都市水道常任委員会の副

四人の議員による一般質問が行われました。

最終日 6/22

委員付託案件の審議結果などについて、所管委員長に報告を求めた後、質疑・討論・採決が行われました。

この結果、各案件とも委員長報告どおり、採決四件（請願第3号・陳情第2号、第4号）と決定しました。

次に、付託省略議案（議案第45号、第52号）が審議され、いずれも原案どおり可決・承認

傍聴者の状況

区分	4~6月計	16年累計
本会議	103人	231人
委員会	0人	12人
合計	103人	243人

一般質問と答弁などをケーブルテレビで放映

内容 / 1回目の質問と答弁(各々15分)、提案理由の説明。
時刻 / 定例会ごとに異なります。

6月定例会 一般質問と答弁の概要

個人質問 11人

6月定例会では、11人の議員が市政に対する一般質問を行い、大綱35点・83項目にわたり市当局の見解や方針などを質しました。

紙面には、各議員の質問趣旨(大綱)と、質問議員が選択した大綱1点について質問と答弁の概要を掲載しました。

なお、本会議の全容を記録した会議録は、行政資料室・図書館・公民館などで閲覧することができます。また、インターネットによる、検索・閲覧も可能です。

武藤 義彦 議員

木更津市第2次総合プランの策定について
羽田空港再拡張に係る諸課題について
館山自動車道高速バスストップ計画について
公共下水道事業の現状について

木更津市第2次総合プランの策定について

問 第2次総合プランについて、現行総合プランが五か年なのに対し、次期プランの計画期間が三か年なのはなぜか、プラン策定に係る審議会委員の人数、構成、開催回数はどうなっているか、次期プランの策定方針の着眼、まとめ方、スケジュール

答 第2次総合プランの計画期間については、現行プランが二度にわたる見直しを行ったことや、今後の社会経済状況の見通しが難しいことから、三か年(十七年度から十九年

度)とした。プラン策定の基本的な考え方は、現行5か年プランの基本構想を踏襲しつつ、「元氣なきさらづ」再生のため実効性のある計画を策定する方針である。プラン策定は、都市総合開発審議会で審議されている。当該審議

山形 誠子 議員

中学校給食の実施について
小学校給食の調理業務の民間委託について
ごみの諸問題について
潮浜公園の整備について

ごみの諸問題について

問 ごみ袋の一部有料化については、市民の中に、有料化に反対する声も多く聞かれた。

今後、広域処理施設であるかずさクリーンシステムによるごみ焼却が始まり、多額の処理費用の支出が予想されるのでごみ袋を有料化したのだと思うが、近隣市に比べ三倍もしては、ごみ袋一枚の負担が重過ぎるし、なぜ

木更津市だけがそうした負担になるのか疑問を持つ市民も多い。そこで、本市のごみ袋販売価格一枚四五円を、富津市並みの一枚十五円に引き下げる考えはないか

答 指定ごみ袋の手数料額に関しては、各市において、ごみ処理体制とその費用により決めているものである。本市においては、一リットル当たり一円の負担、月五百円程の負担であり、この額に



は、市議会、教育、福祉、産業等の各分野、各団体からの推薦委員十七名と、一般公募委員三名の二〇名で構成されている。去る五月、第一回目の審議会を開催した。今後、八月に素案検討を行い、九月に二回目の審議会を開催し、十月を目途にプランを取りまとめたいと考えている。現在、各部等からの事業計画書の提出及びヒアリングを終了し、事業計画の選択作業、財政フレームとの調整を進めているところである。

ついでには、市民に十分納得していただけるものと考えている。また、ごみの減量化、資源化についても、成果が出てきている。ごみ減量推進地区指導員の活動はもろろんのことだが、有料化の実施により、ごみ発生抑制に対する実行的な行動が起こってきたことが成果につながっているものと考えている。

指定ごみ袋有料化は、ごみ減量化・資源化への取り組みのひとつとしてまだ緒に付いたばかりであり、今後の成果を見極めながら、次の議論を考えた

問 アクア木更津のオープンに合わせ行われた「木更津市収蔵美術作品展」には、どのくらいの入場者があったのか。また、どのような意見が寄せられたのか伺いたい。また、市の収蔵作品には、書作品もあると伺っている。今後、展覧会を開催するような考えはあるか。



木更津市収蔵美術作品展

答 「ミュージック・マスターズ・コース」については、地元住民の支援組織ClubMCKが組織され、コース開催に当たり、様々な催し物を計画中のことである。市として、補助金を予定している。

岡田 壽彦 議員

行政改革について
教育行政について
芸術文化の振興について
環境行政について
農業行政について

芸術文化の振興について

問 四回目を迎える「ミュージック・マスターズ・コース」に対する地元の支援状況はどうなっているか

答 「ミュージック・マスターズ・コース」については、地元住民の支援組織ClubMCKが組織され、コース開催に当たり、様々な催し物を計画中のことである。市として、補助金を予定している。

佐藤 多美男 議員

国民健康保険税について
 金田地区土地区画整理事業について
 「無駄使い」の検証について 財源対策について

国民健康保険税について

問 国保税の引き上げがなければ、平成十六年度当初予算国保税収入に不足が生じるとのことだが、予算編成に問題はなかったのか、また、財源不足手当の見通しはどうか。

答 国保税は、国庫補助金のカットなどにより悪化したと考える。

問 国保税の引き上げが、市は、国保会計健全化について、収入源を市民の負担増に求め、また、滞納者に対しペナルティを強化していくのか。それとも、国庫補助金の引き上げ要請や、一般会計繰り入れによる市民負担軽減を図るのか。どちらを選択するのか伺いたい。

答 国保会計予算は、一般会計予算と異なり、歳出予算に合わせ歳入を決定する仕組みである。現時点で見込まれる収入額が、当初予算額を下回っているとしても、予算編成に問題はないと認識している。なお、予算の補正については、必要な場合は措置したいと考えている。

財源不足の手当については、現在の社会経済状況では、国保税の引き上げに求めることは難しく、歳出の抑制(医療費の抑制)と歳入の確保(徴収体制強化)に努力することで、一定の見通しは立った。国保会計健全化については、滞納者に対する措置を履行すること、保険者である市の義務と考えている。また、一般会計からの繰り入れは、基本的には行わないが、どうしても財源確保が困難であるときは考えなければならぬ。

高橋 浩 議員

アクアライン800円値下げ運動について

アクアライン800円値下げ運動について



問 本運動で四十四万人の署名を集め、県及び国に要望書を提出した。国土交通大臣は「関係自治体で減収分の三分の一を負担できるのであれば、八百円で社会実験を行える可能性がある。」との見解で、それに対する協

議会の試算としては三ヶ月で約一億円である。今後市のこの運動に対する方針を伺いたい。

答 市は、地元経済界を中心として設立したアクアライン800円実現化百万人署名活動推進協議会の後援団体として、署名協力等できる限りの協力をしてきた。また、去る五月に県及び国へアクアライン料金引き下げの社会実験に係る要望書等を提出してきたところである。

現在、ETC車限定の社会実験が平成十七年三月末を期限に実施されており、実験による効果の検証作業を進めているところである。アクアラインの経済波及効果を受ける自治体として、県・本市を始め地元三市、南房総地域の市町村の社会実験への参加、範囲、減収分負担などの合意形成も必要であると思われる。なお、地元自治体の負担をなくす運動を展開し、民間レベル、県と連携を図りながら活動を進め、対岸を含めた広域的な動きとなることが社会実験実現の第一歩となり効果があるものと考えている。

飯田 喜代子 議員

行政改革について
 第2次総合3か年プラン(仮称)の策定に向けて

行政改革について

問 本市では、各課ごとに公用車を所持し、管理しているとのことであるが、その配置状況と稼働率を伺いたい。

また、公用車は、庁内LANによる管理の一元化を図ることによって、維持経費を大幅に削減できると考える。

問 本市では、各課がいかがか

答 市全体では、公用車を二五二台所有し、本庁には二九課等に八七台配置されている。稼働率については調査していないが、各課の業務の性質により、すべての公用車が一年を通じて全稼働している状況にはないと

問 公用車の管理方法について、管理を一元化することにより、全体として効率的な活用が図れ、所有台数も計画的に削減でき、管理費等の経費削減につながるかと考えられるので、現在、本庁に配置されている公用車について

答 市全体では、公用車の管理方法について、管理を一元化することにより、全体として効率的な活用が図れ、所有台数も計画的に削減でき、管理費等の経費削減につながるかと考えられるので、現在、本庁に配置されている公用車について

て、一元的管理が可能なのものの絞込みや管理手法の検討を行っているところである。

問 市長車と議長車、二台の車の専属運転手一名が退職した後、運転業務をどのようにするのか伺いたい。

答 退職後の職員補充は行わないことを基本とし、費用対効果、特別職の公用車の特殊性等を考慮しながら、年内には結論を導き出せるよう検討したい。

金井 珠美 議員

行政改革における職員研修制度と意識改革について
 子どもの遊び場環境について 不法投棄について

子どもの遊び場環境について



問 本市の公園については、遊具が少ない、草がぼうぼうで汚いなど、市民から多くの意見を聞くが、公園の管理はどのようにしているのか

答 公園の管理については、大きく分けて公衆便所などの施設管理委託費、除草・樹木剪定などの委託費、フェンス・遊具などの補修事業費に三区分される。これらは、予算の範囲内において緊急度、優先度を考慮して管理しているが、近年の財政状況下においては、市民からの要望や苦情対応に苦慮しているところである。このため、従来からの地元団体などの公園清掃協力に加え、樹木の剪定、

問 公園への市民の意見はどのように反映しているのか

答 市民の意見としては要望・苦情が多く寄せられているが、大別して未供用公園の整備と公園施設の維持管理に分けられる。未供用公園の整備については、整備できる段階にきたら要望や地元の意見を伺い対応していきたい。公園施設の維持管理については、老朽化による遊具の損傷など多くの苦情や要望が寄せられているが、まず現地確認をしてから対応しているところである。

荒生 直美 議員

パブリックコメント制度について
指定管理者制度について
君津中央病院の諸問題について

パブリックコメント制度について

問 本市のパブリックコメント制度の対象について、どのようなものを考えているのか
答 パブリックコメントとは、「パブリック・公衆」と「コメント・意見」を組み合わせたもので、意見公募を意味している。
具体的制度内容については、市が政策等を決定する場合、その案を広く住民に公表し、住民から提出された意見・提案を参考に最終案をまとめ、検討結果とともに、提出された意見等に対する市の考え方を合わせて公表している。

荻野 一男 議員

教育行政に関わる諸問題について
公園等における遊具の安全対策について
潮干狩り来津車両の道路渋滞と駐車場について
廃棄物の不法投棄その後
木更津東口駅前の乱雑な駐・停車車両について

潮干狩り来津車両の道路渋滞と駐車場について

問 本市最大の観光入浴客である潮干狩り客に、受け入れ態勢が不備ではないか。木更津海岸のケースでは、駐車場の収容能力不足から、駐車場を求める車両による混雑と、それによる道路渋滞が大きな問題となっているが、こうした問題について、市は、どのように考えているか
答 本市には5つの



潮干狩り海岸があり、潮干狩り客が集中する

ゴールデンウィークには各海岸とも混雑している状況である。特に牛込海岸と木更津海岸については、警察署に苦情が寄せられるなどとして苦慮している。牛込地区については、駐車場が確保されている。基本的な計画方針の策定や変更や市政の基本的な方針を定める条例の制定等である。
問 パブリックコメント制度により提出された意見の取り扱いはどうしているのか
答 提出された意見等を考慮して意思決定を行うことは当然であるが、意思決定に盛り込まれない意見等についても公表することとし、それらの意見に対する考え方についても公表したいと考えている。

白坂 英義 議員

ごみ行政について
PFI事業について

PFI事業について

問 市の行う事業について、事業費コストの削減を図り、効率的かつ効果的に質の高いサービスを提供するため、PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアチブ)の手法を導入することが考えられるが、PFIに関しては、その導入から実施段階までの各段階で専門的な知識を要することから、実務的な手引きとなるガイドラインが必要であると考える。国においては、既にガイドラインが定められているが、本市では、ソフト重視の施策展開によるまちづくりを推進し、行政主体のサービス提供の

三上 和俊 議員

市民ふれあいの道(仮称)について
高速バスの利便向上について

市民ふれあいの道(仮称)について

問 健康増進法に基づく基本指針では、多様な施策の連携により効果的に健康増進に取り組むものとされ、その施策のひとつとしてウォーキンググロウドの整備が挙げられる。市民ふれあいの道という新たなものの整備が必要だと考える。
答 市は健康増進法をどう受け止め、市民の健康増進について総合的に関係部局が連携を取り、教育の場、環境、街づくりなどの面から取り組むのか伺いたい
答 健康増進法は、病気に対する予防的対応を重視し、健康づくりに取り組もうとする一人ひとりの取り組みを行政などが支援し、環境整備を行いながら、健康増進を図っていく



うまいたの道

あり方を見直し、サービスの性質、内容、地域の実情等の多角的な観点からサービス提供の最適な形態を選択し、民間活力の最大限の活用を図っていくという視点から、PFI等も包含した官民連携の新たな手法としてのPPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)の導入を検討していきたく考えており、PPPについてガイドラインの策定を検討していきたい。ものと理解している。歩くことは、病気に対し予防的効果があり、大きな負担をかけずに安全に健康づくりができるので推奨したいと考えている。
教育現場では、健康の保持増進・管理及び体力の向上に関連して歩くことについて指導している。また、健康施策として健康さざらぶ21を策定したり、みどりのマスタープランなどによる公園緑道などの整備保全を図っている。
既存道路と本市の貴重な自然、公園などを有機的に結合できれば、魅力的なウォーキンググロウド構想が実現でき、市民の健康増進と市民参加のまちづくりにつながると考える。

委員会の動き

- 教育市民福祉常任委員会
 - 6/11 付託案件審査 陳情三件
 - 土木都市水道常任委員会
 - 6/11 付託案件審査 請願一件
 - 議会運営委員会
 - 6/1 六月定例会議事運営について他
 - 議会広報特別委員会
 - 7/23 議会だより第84号の発行について他
 - 基地対策特別委員会
 - 5/10 基地対策の概況について他
 - 業務核都市拠点地区対策特別委員会
 - 4/27 木更津業務核都市基本構想及び各拠点地区の現状・課題・将来展望について
 - 合併調査特別委員会
 - 6/18 本市を取り巻く状況について他
 - 議員定数調査特別委員会
 - 7/30 今後の進め方について他

木更津市議会委員会等構成名簿

印...委員長 印...副委員長 (平成16年6月4日現在)

(第53代)議長 後藤 秀		(第50代)副議長 野田 芳久	
委員会名	定数	委員名	
総務企画消防 常任委員会	8	平高平貴 井橋野一	幸浩樹義 白荒西三
経済環境 常任委員会	7	鈴木金滝竹 木井口内	日出美夫雄 大近前
教育市民福祉 常任委員会	8	荻武飯山 野藤田形	男彦子 一義喜誠
土木都市水道 常任委員会	7	住野石佐久 江田井間	雄芳量康 次久夫之
議会運営委員会	8	滝橋鈴大 口木野	敏武日出 夫信男幸
議会広報 特別委員会	9	岡武飯荻貴 田藤野	彦彦子男義 壽義喜一
基地対策 特別委員会	9	清金岡滝前 水井田口田	一美彦夫治 宗珠壽敏清
業務核都市 拠点地区 対策特別委員会	9	平橋平石竹 野口井内	樹信幸夫雄 秀武秀量和
合併調査 特別委員会	9	近金高住前 藤井橋江田	富珠雄清 男美浩次治
議員定数調査 特別委員会	9	貫荒平山三 生野形上	一直接誠和 義美樹子俊
議会選出 監査委員		三上和俊	
君津郡市中央病院組合議会議員		石井勝	石井量夫
君津郡市広域市町村圏事務組合議会議員		後藤秀	前田清治
君津広域水道企業団議会議員		清水宗一	

六月定例会初日の六月四日に、永年在職議員に対する表彰状と記念品の伝達式が行われました。

今回の表彰は、『永年にわたり、地方自治の進展と市政の振興に貢献された功績が顕著である』として、全国市議会連合会・関東市議会連合会・千葉市議会連合会・千葉県市議会連合会からそれぞれ顕彰されたもので、次の議員が表彰されました。

永年在職で表彰

在職25年

前田 清治



三上 和俊



(敬称略)

意見書の提出

今定例会で議員より提案され可決された発議案3件に基づき、下記の意見書を政府及び関係機関に提出しました。

国における平成17年度教育予算拡充に関する意見書(要旨)

豊かな教育を実現させるためには、子どもたちの教育環境の整備を一層進める必要がある。そこで、以下の項目を中心に、来年度に向けての予算の充実に努めていただきたい。

記

- 子どもたちに、きめ細やかな指導をするための第7次公立義務教育諸学校教職員定数改善計画最終年次分の完全実施をすること
 - 少人数学級を実現するための義務教育諸学校における学級編制基準数を改善すること
 - 保護者の教育費負担を軽減するために、義務教育教科書無償制度を堅持することや、就学援助・育英奨学事業を拡充すること
 - 子どもたちが地域で活動できる総合型地域クラブの育成等、環境・条件を整備すること
 - 危険校舎、老朽校舎の改築やエアコン、洋式トイレ設置等の公立学校施設整備費を充実すること
 - 子どもの豊かな学習を保障するために、基準財政需要額を見直し、地方交付税交付金を増額すること
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成16年6月22日

千葉県木更津市議会

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書(要旨)

義務教育費国庫負担制度は、憲法に基づき、教育の機会均等とその水準の維持向上を目指して、子ども達の経済的、地理的な条件や居住地のいかに関わらず無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ、一定の規模や内容の教育を確保するという国の責務を果たすものである。

よって、国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成16年6月22日

千葉県木更津市議会

君津地方における教職員の調整手当格差是正に関する意見書(要旨)

富津市の現在の教職員の調整手当支給率は2%で、近隣三市の5%と君津地方内において格差が生じている。同様の勤務を遂行しているにもかかわらず、市により格差があり、教職員の間不公平感が増すばかりである。このことは、円滑な人事異動への影響も懸念される。

よって、富津市の調整手当支給率を5%とし、君津地方における調整手当支給率の格差是正の早期実現を要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成16年6月22日

千葉県木更津市議会

議案などの概要

市長提出議案

議案第45号

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、手数料条例の一部を改正する必要がある。同条例の一部を改正する例を専決処分したので、議会に報告し、承認を求めようとするものである。

議案第46号

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、木更津市国民健康保険条例の一部を

議案第47号

改正する必要がある。同条例の一部を改正する例を専決処分したので、議会に報告し、承認を求めようとするものである。

議案第48号

木更津市固定資産評価審査委員会委員加藤

議案第49号

改正する必要がある。同条例の一部を改正する例を専決処分したので、議会に報告し、承認を求めようとするものである。

議案第50号

木更津市母子家庭・父子家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第51号

市道路線の認定について

議案第52号

木更津市監査委員の選任について

議案第53号

博司氏の任期満了に伴い、後任の委員に渡邊庄一氏を選任したいので、議会の同意を得ようとするものである。

議案第54号

本条例の題名を「木更津市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例」に改め、医療費等の助成について、所得制限限度額の改正等をするため、関係条文の整備をしようとするものである。

議案第55号

土地区画整理事業及び宅地開発事業により築造された道路を市道認定するため、議会の承認を得ようとするものである。

議案第56号

木更津市監査委員(議員選任)佐久間康之氏の退職に伴い、後任の委員(議員選任)

に三上和俊氏を選任したいので、議会の同意を得ようとするものである。

議員発議案

発議案第3号

議員定数調査特別委員会を設置することについて、議会の議決を得ようとするものである。

発議案第4号

八幡台地区の公共下水道接続への早期実現を求めるものである。

発議案第5号

教育基本法の精神を生かし、子どもたちによりよい教育を保障するために平成十七年度教育予算の充実・拡充を図るよう、国に対して意見書を提出すること

発議案第6号

陳情第2号・第3号・第4号が採択されたことに伴い、5面の意見書を政府並びに係機関に提出しようとするものである。

発議案第7号

東関東自動車道千葉富津線の建設促進に関する決議について

請願・陳情

請願第3号

八幡台地区の公共下水道接続への早期実現を求めるものである。

陳情第2号

教育基本法の精神を生かし、子どもたちによりよい教育を保障するために平成十七年度教育予算の充実・拡充を図るよう、国に対して意見書を提出すること

陳情第3号

「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める陳情書

陳情第4号

「君津地方における教職員の調整手当格差是正に関する意見書」採択に関する陳情書

とを求めるものです。陳情者：千葉県教職員組合君津支部・代表者 山口一也

陳情第3号

義務教育の全国水準や機会均等を確保し、その円滑な推進を図るため、自治体間の教育水準に格差が生じないよう、義務教育費の国庫負担制度を堅持し、地方自治体への財政的負担軽減を行わないよう、国に対して意見書を提出すること

陳情第2号

教育基本法の精神を生かし、子どもたちによりよい教育を保障するために平成十七年度教育予算の充実・拡充を図るよう、国に対して意見書を提出すること

陳情第4号

君津地方管内において働く教職員の調整手当の格差を是正するよう、県に対して意見書を提出することを求めるものである。

陳情者：陳情第2号と

同じ

6月定例会の議決結果

番号	件名	本会議の結果	
市長提出議案			
議案第45号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	全会一致
議案第46号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	賛成多数
議案第47号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認	賛成多数
議案第48号	木更津市固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決	賛成多数
議案第49号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第50号	木更津市重度心身障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	賛成多数
議案第51号	木更津市母子家庭・父子家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	賛成多数
議案第52号	市道路線の認定について	原案可決	全会一致
議案第53号	木更津市監査委員の選任について	原案同意	賛成多数
議員発議案			
発議案第3号	議員定数調査特別委員会の設置について	原案可決	賛成多数
発議案第4号	国における平成17年度教育予算拡充に関する意見書について	原案可決	全会一致
発議案第5号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	原案可決	全会一致
発議案第6号	君津地方における教職員の調整手当格差是正に関する意見書について	原案可決	全会一致
発議案第7号	東関東自動車道千葉富津線の建設促進に関する決議について	原案可決	全会一致
請願・陳情			
請願第3号	下水道公共化に関する請願書	採 択	全会一致
陳情第2号	「国における平成17(2005)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書	採 択	全会一致
陳情第3号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める陳情書	採 択	全会一致
陳情第4号	「君津地方における教職員の調整手当格差是正に関する意見書」採択に関する陳情書	採 択	全会一致

次の定例会は、9月7日(火)に開催される予定です。

議事を傍聴してみませんか
 受付で住所・氏名を記入するだけで簡単に傍聴できます。(委員会の傍聴は、委員長の許可が必要です。)
 会議録の閲覧について
 平成16年6月会議録は、市役所(2階)行政資料室、最寄りの公民館・図書館などで9月1日(水)頃から閲覧することができます。
 インターネットによる会議録の検索・閲覧について
 市議会ホームページ内の「会議録の検索と閲覧」で、本会議および委員会の会議録をご覧いただけます。
 URL <http://www.city.kisarazu.chiba.jp/gikai/> (平成16年6月会議録は9月上旬公開の予定です。)

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください

暑中お見舞い 申しあげます

皆様のご健勝をお祈り申しあげます。

木更津市議会

公職選挙法により、議員等は時候のあいさつ状を出すことが禁じられています。

市民の皆さまのご理解をお願いいたします。